

●今月の『ポピー』の算数で学習するおもな内容と大切なことがあります。

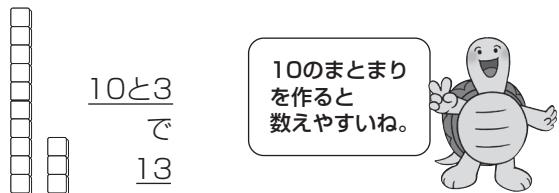
□の数字は、教科書のページ数です。

1年 10より おおきい かず、なんじ なんばん □ 36~49

●20までの数を読んだり、書いたりできるようになります。また、**数直線**を見ながら、数の大小や並び方を理解します。

「10といくつ」という数の構成に着目して、12+3や15-5などの計算ができるようになります。

●30くらいまでの数の読み方を学習します。



●時計を見て、「何時」「何時半」を読みとることができます。

2年 たし算とひき算のひつ算 □ 86~97

●百の位にくり上がるたし算、百の位からくり下がるひき算ができるようになります。

〈注意〉くり上がりやくり下がりが2回ある場合があるので、わすれないように注意する。

$$\begin{array}{r} 49 \\ +85 \\ \hline 134 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 9+5=14 \\ 1\text{くり上げて} \\ 1+4+8=13 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 142 \\ -83 \\ \hline 59 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{十の位から1くり下げて} \\ 12-3=9 \\ \text{百の位から1くり下げて} \\ 13-8=5 \end{array}$$

3年 あまりのあるわり算、大きい数のしくみ □ 82~103

●あまりのあるわり算の答えが求められます。

わり算のあまりは、わる数より小さくなります。  
 $23 \div 7 = 3\text{あまり}2$  〈答えのたしかめ〉  
 「七三 21」  
 $23 - 21 = 2$

●一億までの数の表し方やしくみを学習します。また、「10倍・10でわる」を通して「位」を理解します。

4	5	3	6	0	0	0
千万の位	百万の位	十万の位	一万の位	千の位	百の位	十の位

この数は、  
**四千五百三十六万**と  
 読みます。

4年 わり算の筆算(2)、倍の見方 □ 94~117

●2けたの数でわるわり算の筆算ができるようになります。

$$\begin{array}{r} 6 \\ 41 ) 275 \\ \underline{246} \\ 29 \end{array}$$



- ・わる数の41を40とみて、商の見当をつける。
- ・商の6を一の位にたてる。
- ・41と6をかける。
- $41 \times 6 = 246$
- 275から246をひく。
- $275 - 246 = 29$
- ・答えは、6あまり29

●もとの量の何倍かの求め方、くらべる量やもとにする量の求め方を考えます。

$$5\text{m} \rightarrow 15\text{m}$$

3倍

5年 図形の角、偶数と奇数、倍数と約数 □ 84~104

●三角形の3つの角の大きさの和=180°をもとに、四角形、多角形の角の大きさの和を求め、それぞれの図形の角の大きさを計算します。

●倍数や約数の意味を知り、それらの数が求められるようになります。

倍数…ある整数に整数をかけてできる数。  
 いくつかの整数に共通な倍数を、それらの整数の**公倍数**といい、その中でいちばん小さい数を**最小公倍数**という。

約数…ある整数をわりきることのできる整数。  
 (1とその数自身も約数)

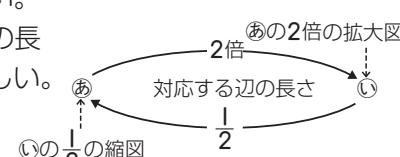
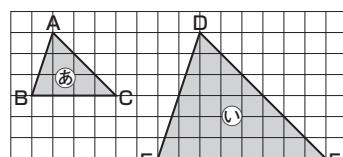
いくつかの整数に共通な約数を、それらの整数の**公約数**といい、その中でいちばん大きい数を**最大公約数**という。

6年 拡大図と縮図、データの調べ方 □ 88~115

●図形を**拡大**、または、**縮小**するしかたを学習し、**縮尺**についても学びます。

拡大図←縮図

- ・対応する角の大きさは等しい。
- ・対応する辺の長さの比は等しい。



●データを表やグラフにまとめたり、平均値などを求めたりして、その特徴を調べます。